

インテュイティブサージカル、日本市場で 新製品「ダビンチ Xi サージカルシステム」を発売

【2015年4月10日】ロボット支援下低侵襲外科手術の分野で世界をリードしているインテュイティブサージカル社(NASDAQ:ISRG 本社:米カリフォルニア州サニーベール)は、ダビンチ サージカルシステムの最新モデル、「da Vinci Xi サージカルシステム」(以下ダビンチ Xi システム)の薬事承認が、2015年3月30日に厚生労働省から下りたことを受け、2015年5月下旬より、日本市場においてダビンチ Xi システムの販売を開始することをお知らせいたします。(薬事承認番号:22700BZX00112000)

インテュイティブサージカルは、泌尿器科、胸部外科、婦人科、そして一般外科分野における低侵襲外科手術をさらに発展させることを目的に、ダビンチ Xi システムを開発しました。

「ダビンチ Xi サージカルシステム」の特長

1) アクセス性・操作性の大幅な向上を実現

ダビンチ Xi システムでは、新しいオーバーヘッド・インストゥルメント・アーム構造が採用され、腹部および胸部における手術部位へのさまざまな角度からのアクセスが容易になりました。また、一段と細径化したロボットアームと新デザインの関節により、患者様との距離を最適化しながら、より大きな可動域を実現しました。さらに、インストゥルメントのシャフト長も延長され、到達域も拡大しています。

2) より高画質な 3D-HD 画像と新エンドスコープが視野展開の多様性を確保

エンドスコープに新たなデジタル構造を採用し、カメラヘッドを一体化したシンプルでコンパクトなデザインでありながら、画質と操作性の向上を達成しました。また、今までは専用アームのみに装着可能であったエンドスコープが、すべてのアームに装着できるようになり、より柔軟で広範囲に術野展開することが可能になりました。

3) ガイド付きセットアップとレーザーターゲティング機能によるドッキング時間の短縮

タッチパネルと音声ガイドによるセットアップ・ガイドと、システムとエンドスコープに新たに搭載されたレーザーターゲティング機能により、迅速で再現性の高いドッキング作業が可能になりました。

4) 将来のシステム拡張性を提供するプラットフォーム

ダビンチ Xi システムは、既存の低侵襲外科手術を構成する最新技術に加え、将来の技術革新にもスムーズに対応・統合できる拡張性のあるテクノロジー・プラットフォームです。

インテュイティブサージカル社の最高経営責任者ゲイリー・グットハート(Gary Guthart)は、「ダビンチ Xi システムは、低侵襲外科手術を行う外科医のさまざまなニーズを満たす為に、技術革新を積み重ね、第4世代のシステムとして2014年4月に米国で発売し、高い評価を受けています。米国での発売以降各国で順次上市しており、このたび日本でも発売の運びとなりました。日本の外科医の先生方と患者様にダビンチ Xi システムをご提案できることをたいへん楽しみにしています」と述べています。

インテュイティブサージカル合同会社社長の上條 誠二は、「ダビンチ Xi システムは、多くの機能を有し、手術部位へのアクセスが向上し、可動域はさらに広がり、セットアップもより簡便になりました。低侵襲外科手術のためのテクノロジーがさらに高度化されたことにより、ダビンチ Xi システムは、日本の外科医の先生方に新たな価値と精度の高い手技を提供できると確信しています」と述べています。